

交通空白地域の移動手段確保に向けた住民協働型公共交通の展開に関する研究 —千葉県我孫子市を対象として—

日本大学 学生会員 ○星野遼太

日本大学 正会員 藤井敬宏

日本大学 正会員 伊東英幸

1. はじめに

現在、多くの地方自治体が地域公共交通総合連携計画や地域交通網形成計画等を策定し、日常の移動支援の維持・継続に取り組んでいる。

本研究で対象とする千葉県我孫子市では、平成28年度に鉄道、民間路線バス、あびバス（コミュニティバス）、タクシーの満足度調査¹⁾が実施されたが、あびバスに対する不満が最も高くなっていた。

そこで本研究は、地区の最小単位となる「自治会（町会）」に着目し、住民協働の取り組みの可能性が高い自治会を対象に、役員および地区住民の方々によるワークショップを開催し、新たな移動手段を検討する。

2. 既往研究の整理

喜多ら²⁾は、奈良市における地域公共交通計画の策定による効果として、コミュニティバスの運行により住民の活動機会が多様化し、計画目的に合致した利用がされていることを明らかにした。

古川ら³⁾は、路線バスの利用有無では維持・継続に対する意識が異なることを明らかにした。

しかし、住民協働意識が高い地区を抽出し、新たな交通手段導入へ展開した検討事例は見られない。

3. あびバスへの不満度が高い自治会の抽出

あびバスの満足度調査¹⁾の「運行本数、運行時間帯、運行ルート、鉄道との乗り換え」について、不満（－2点）、やや不満（－1点）とした方を自治会別に集計し、表－1の基準より不満度の高い自治会を抽出した。

なかでも、運行本数に対する不満度が高い自治会は、図－1に示したように、鉄道駅より900mの縁辺部を超えた範囲に点在している。

表－1 自治会における不満度の評価基準

各ルート内の不満に思う自治会の割合	不満度の得点	
	-1.00（以上）～-1.50（未満）	-1.50（以上）～-2.00（未満）
	不満の割合	不満の割合
50%以上	周辺地域も含めて不満度が高い	周辺地域も含めて不満度が非常に高い
50%未満	不満度が高い	不満度が非常に高い

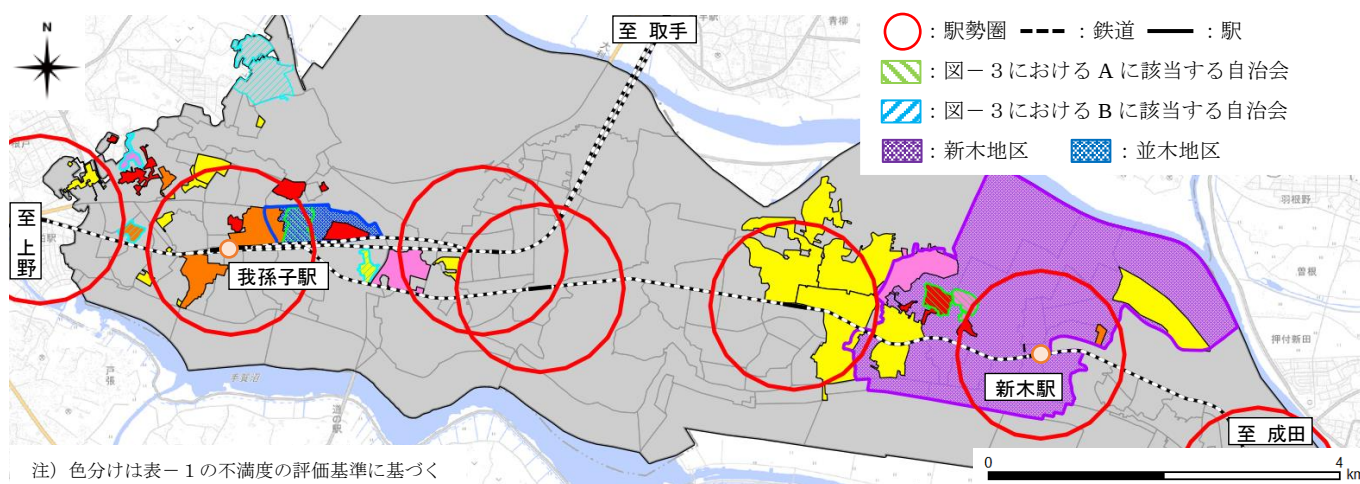
4. 住民協働の取組の可能性の高い自治会の抽出

4. 1 アンケート調査概要

不満度の高い41自治会を対象に、公共交通の利便性向上および住民協働の可能性を確認するアンケート調査を行った。調査概要を表－2に示す。

4. 2 運行改善に向けた自治会の積極性と主体性

自治会の「あびバスの運行改善に向けた積極性」・「自治体への依存度」に対するアンケート結果を用いて、



図－1 運行本数の満足度の評価結果と対象地域（我孫子市自治会一覧を基に筆者作成）

キーワード 住民協働，交通空白地域，移動手段確保，ボランティア輸送

連絡先 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1 TEL：047-469-6476 E-mail：csry19016@g.nihon-u.ac.jp

